

# 異なるバージョンのFemtetの共存方法

Femtet2023がインストール済みの状態でFemtet2024をインストールすると「Femtet Ver2023をアンインストールしますか？」と聞かれますが「いいえ」を選択することでFemtet2023とFemtet2024を共存させることができます。



※Femtet2024にプロジェクトファイルが関連付けされます。マクロもFemtet2024で有効化されます。必要に応じて、最後のスライドの方法でプロジェクトファイルの関連付けやマクロの有効化を実施してください。

※Femtet2024がインストールされた状態でFemtet2023をインストールすることはできません。一旦Femtet2024をアンインストールしてFemtet 2023からインストールしなおす必要があります。



スタートボタンをクリック

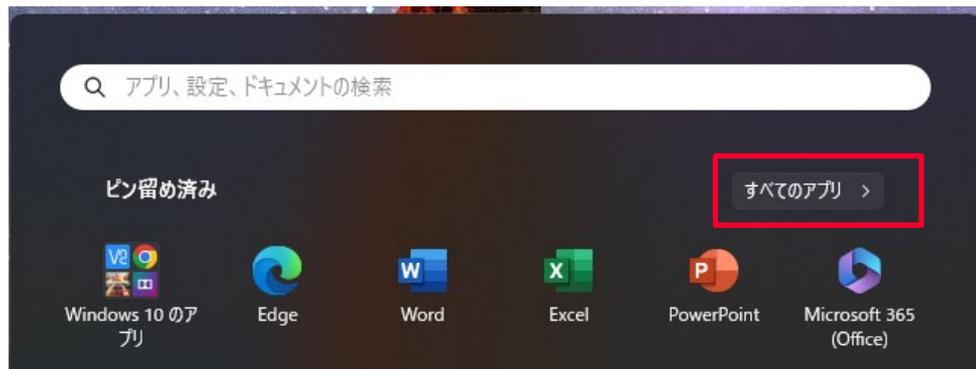


「F」の下にインストール済みの  
Femtetの各バージョンの  
フォルダが表示される

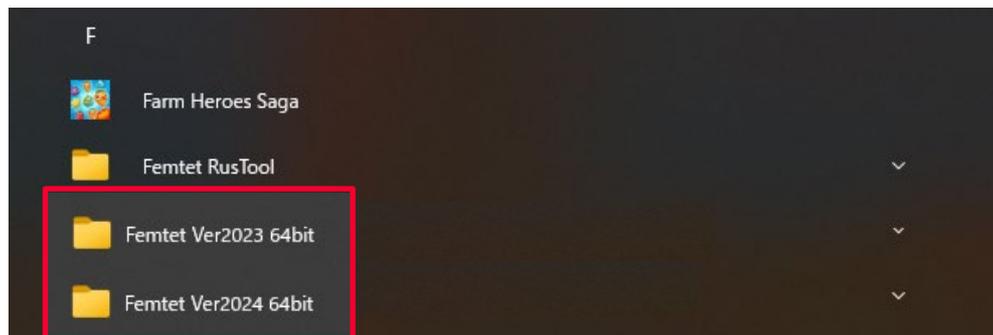
# Win11のスタートメニュー



スタートボタンをクリック



すべてのアプリをクリック



「F」の下にインストール済みの  
Femtetの各バージョンの  
フォルダが表示される



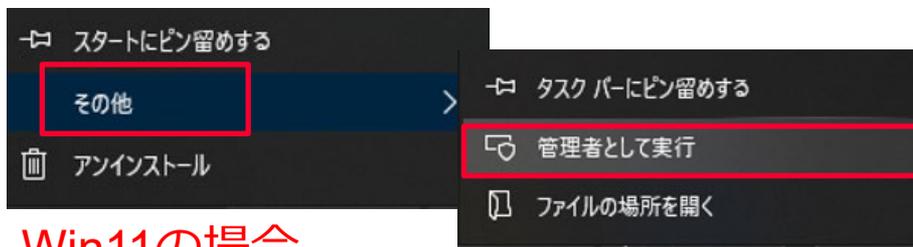
起動したいバージョンのフォルダを開いて一番上のFemtetのアイコンをクリックするとそのバージョンのFemtetが起動します（左図の場合Femtet2024が起動）

Femtetヘルプ、マクロヘルプ、バッチシミュレーション、グラフ、伝送線路インピーダンス計算(Henry)、ライセンスキー更新ツール (Rustool) もこのメニューから起動することができます。

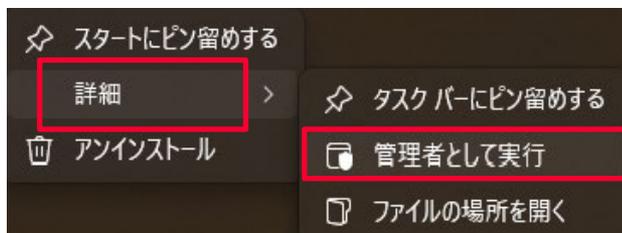
# Femtetのメニューから管理者として実行

選択したバージョンのFemtetにおいて、プロジェクトファイルの関連付け※、マクロ機能の有効化や無効化、およびライセンス参照設定は各メニューを右クリックし以下の手順に沿って「管理者として実行」してください。

## Win10の場合



## Win11の場合



※femprjファイルをダブルクリックした時に開くFemtetのバージョンを関連付けできます。

